

(平成 24 年 10 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動テーマ：飼料米の鉄コーティング直播栽培及び
牛用飼料向け低コスト加工調製方法の確立

情 報

低コスト栽培と粉砕加工で飼料用米の牛への利用拡大を

畜産センターと農林センターでは、飼料用米の牛への利用拡大を図るため、農業法人、農業改良普及センターと連携し、直播栽培と給与技術を実証するタスクチーム活動を行っています。

10月2日、京丹後市大宮町の直播栽培実証ほ場で、飼料用米の収穫が終了しました。タスクチームでは、収穫前に収穫調査(坪刈)を行っており、今後は、播種量や施肥方法による収量差やコストを調査・検討するとともに、乾燥保存した飼料用米を粉砕加工して、乳用牛・肉用牛で給与試験を行います。



収穫調査の様子

畜産センター